

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	㉔	チームによる介護計画をより具体的にする。	各利用者の目標を明確にし実践に繋げる。	認知症チームケア推進委員会、ユニット会議の勉強会では5w1hを意識しその方のニーズをよりわかりやすくする。ケアプランに反映させる。	12ヶ月
2	㉑	地域との関りを密にする。	住み慣れた場所で居心地の良い環境・雰囲気作りをする。	それぞれの馴染みの場所に出向き利用者がどのような暮らしをしてきたのか理解を深める。地域との連携を強化しグループホームでの生活を柔軟に支援する。	12ヶ月
3	④	運営推進会議を活かした地域との取り組み。	運営推進会議を地域の一員として取り組む。	家族、利用者、民生委員など地域と共に今ある課題と取り組む。また議事録は誰でも手に取って見れる場所に設置する。	2ヶ月
4	㉓	災害対策。一月に地震を経験し出来ていない点が明確になった。	BCPを活用し日頃の訓練では見落とししていた気づきを活かす。	非常時には自施設だけでの対応では難しさがある。日頃からの地域とのつながり、ネットワーク作りを取り組む。自施設が地域の方の一時的な避難所として活用できるようにする。	3ヶ月
5	⑦	虐待防止。	利用者の尊厳の保持。	乱暴な声掛けや横柄な立ち振る舞いなどをしていないか職員一人一人が意識しながら対応する。3か月に一度の勉強会ではロールプレイングを用いて各自、振り返り、見直しをする。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。